

# 教育課程部会 実施案内

◆研究のねらい◆

## 変革の時代における学びとは ～教育DXと創造的な学び手の育成～

急速に変化している社会において、持続可能な未来を確固たるものにしていくためには、既存の枠組みを超えた大胆な発想と創造的な思考が必要とされる。未来社会設計を見据えた教育には、協働的で個別最適化された学びやSTEAM教育、AIの活用が不可欠であり、そのスキルを鍛えることが重要である。

今年度の当部会では、次期学習指導要領の改訂と、デジタル技術やデータを駆使した学校教育全般の改革を目指す「教育DX」に焦点を当て、講演・ワークショップや学校視察、研究討議等のプログラムを通して、各校の現状や取り組みに向き合い、変革の時代にこそ試される私学における教育の本質を探る場としたい。

会 期 令和7年7月3日（木）・4日（金）

会 場 初日・全体会 [アクトシティ浜松コンgresセンター](#) 〒430-7790 静岡県浜松市中央区板屋町1 1 1-1～2

教育懇談会 [オークラアクトシティホテル浜松](#) JR 浜松駅北口広場から徒歩5分

2日目・学校視察 [浜松学芸中学校・高等学校](#) 〒430-0905 静岡県浜松市中央区下池川町3 4-3

浜松駅からバス乗車「学芸高校前」下車  
遠州鉄道西鹿島線「八幡駅」から徒歩10分

募集人数 120名

参加対象 理事長・校長・副校長・教頭・教務主任及び教員

※参加対象校は都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

参加費 27,000円（初日昼食費・教育懇談会費を含む。宿泊費別）

日 程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	30	30		30	30		15		45	30
初日		受付	開 会 式	講演Ⅰ (90分)	昼食	講演Ⅱ ワークショップ (90分)	休 憩 ・ 移 動	研究討議 (90分)	休 憩 ・ 移 動	教育懇談会 (90分)
2日目		受付	学校視察 (180分)							

研修内容 講演Ⅰ 演 題 変革の時代における学びと教育DX

講 師 藤村 裕一 鳴門教育大学大学院学校教育研究科特命教授・教員養成DX推進機構長

講演Ⅱ・ワークショップ テー マ 次期学習指導要領改訂を見据えた創造的な学び

講 師 宮島 衣瑛 広島大学大学院人間社会科学研究科教育データサイエンスプログラム特命助教  
株式会社 Innovation Power 代表取締役社長

研究討議 テー マ 変革の時代に求められる学びとは

学校視察 視察内容 学校紹介・授業視察・実践報告・施設見学・全体会（質疑応答等）

教育懇談会 参加者同士の交友を深め、情報交換や今後のネットワークを作る着席形式の懇談会

○主催 一般財団法人日本私学教育研究所／○後援 日本私立中学高等学校連合会

【問合せ先】「一般財団法人日本私学教育研究所 一般研修会担当」

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683 ホームページ URL <https://www.shigaku.or.jp/>



2025.6

## ◆視察校紹介◆

### 浜松学芸中学校・高等学校

(理事長 服部 泰啓／高等学校長 内藤 純一／中学校長 森 真人)

静岡県内の私学で2番目に古い歴史があり、明治35年(1902年)の創立以来、「内観」「受容」「継続」を校訓とした123年の歴史を持った伝統校である。2020年度から「チーム担任制」を導入。中学に個別最適な学び×AI教材「すらら」を導入。2024年度より、文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業」により普通教育を主とする探究創造科が新設され、3科6コース(普通科・探究創造科・芸術科)に一新された。

探究活動は仲間と協力しながらひとつのことに向き合う、貴重な「体験の場」として、「人文科学」「社会科学」「自然科学」「芸術」「生活」の5分野からテーマを決め、課題解決に取り組む。文化や歴史などの知的遺産を探究するものから、プログラミングやアプリ開発、動植物に関する研究活動を行うもの、芸術や日本の伝統文化に触れるものなど、テーマは多岐にわたる。また、芸術科を有する強みを活かし、アートの視点を重視するのも特徴の一つとなっている。

2025年4月に新設予定の「特進共創クラス」では、世界に視野を広げて多様な人と関わり、新たな価値観を創造することを目指し、協働・挑戦・変化を創るなど、世界を舞台にしたリアルな学びを通して、課題解決能力・レジリエンスを身につけさせる。一番の特長は、1年生の春休みにインドネシア・バリ島で行われる海外探究プログラムで、語学の学びに主眼を置くのではなく、現地で環境問題などをテーマにしたプロジェクト学習を行っている。

2024年度、第12回「創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」では、高等学校社会科学部地域調査班が準グランプリを受賞した(テーマ:防災と観光で災害と共に生きる社会をつくる3日体験プラン)。



## ◆講師プロフィール◆

### 藤村 裕一

鳴門教育大学大学院学校教育研究科特命教授・教員養成DX推進機構長

北海道教育大学卒業後、鳴門教育大学大学院学校教育研究科助教授、東京工業大学大学院社会理工学研究科内地研究員などを経て現職。専攻は教育学(教育情報システム学、授業改善論・学校経営改善論、校務の情報化、データ標準化、情報セキュリティ等)、情報教育、授業設計論、教育改革論。

現在は、セルフデザイン型学習支援センター・遠隔教育推進センター・情報基盤センターを束ねる教員養成DX推進機構長を務めている。

首相官邸では教育再生実行会議初等中等教育WG委員、デジタル化タスクフォース委員、文部科学省では中央教育審議会デジタル学習基盤特別委員会委員、就学援助システム標準化検討委員会座長、教育データの利活用に関する有識者会議座長代理など、教育の情報科に関する数多くの委員会で座長、座長代理、委員を歴任している。

他にも、総務省で地域情報化アドバイザーやNHKティーチャーズ・ライブラリー編集委員長、日本教育情報化振興会「ネット社会の歩き方」情報モラルセミナー検討委員会委員長など、総務省・経済産業省・デジタル庁・NHKなど国や公的団体で、委員長・座長やアドバイザーを務めている。



### 宮島 衣瑛

広島大学大学院人間社会科学研究科教育データサイエンスプログラム特命助教  
株式会社 Innovation Power 代表取締役社長

1997年5月生まれ。学習院中等科、高等科、学習院大学文学部教育学科、学習院大学大学院人文科学研究科教育学専攻博士前期課程、後期課程。修士(教育学)。2013年5月から地元である千葉県柏市で小中学生向けのプログラミング道場、CoderDojo Kashiwaを主催・運営。プログラミング教育を始めとするコンピュータと教育について、全国各地で実践・研究を行っている。

2015年1月に教育分野のR&D(研究開発)などを行う株式会社 Innovation Powerを立ち上げ、現在に至るまで代表取締役社長を務める。2017年11月より一般社団法人 CoderDojo Japan 理事。また、文部科学省調査研究企画推進委員会委員などの社会的活動も精力的に行っている。2023年より逗子オルタナティブスクールFRASCOのカリキュラムディレクター(理事)、2024年より白梅学園大学非常勤講師等も務めている。大学院ではコンピュータを基盤とした学校や教育、学びについて研究している。



## ◆研修会日程・プログラム◆

【初 日】7月3日（木）

〈全体会場〉アクトシティ浜松コンgresセンター3階「31会議室」

10:00~10:30	◇受付◇	
10:30~11:00	◇開会式◇	司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 3. 役員・専門委員紹介 4. 研修会運営方針説明 森 涼 教育課程専門委員長 5. 日程説明 6. 閉式
11:00~12:30	◇講演Ⅰ◇	司会・講師紹介・謝辞 教育課程専門委員 演 題 変革の時代における学びと教育 DX 講 師 藤村 裕一 鳴門教育大学大学院学校教育研究科特命教授・教員養成 DX 推進機構長
12:30~13:30	◇昼 食◇	会場：全体会場
13:30~15:00	◇講演Ⅱ・ワークショップ◇	司会・講師紹介・謝辞 教育課程専門委員 テーマ 次期学習指導要領改訂を見据えた創造的な学び 講 師 宮島 衣瑛 広島大学大学院人間社会科学研究科教育データサイエンスプログラム特命助教 株式会社 Innovation Power 代表取締役社長
15:00~15:15	◇休憩・移動◇	
15:15~16:45	◇研究討議◇	会場：アクトシティ浜松コンgresセンター2階及び5階に分かれて実施 テーマ 変革の時代に求められる学びとは 6つの会場に分かれ、小グループで参加各校の現状や課題等について意見交換を行います。 (司会は参加者が務めます)
16:45~17:00	◇休憩・移動◇	
17:00~18:30	◇教育懇談会◇	会場：オークラアクトシティホテル浜松4階「平安」 司会・進行 教育課程専門委員 1. 主催者挨拶 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長 2. 乾杯 教育課程専門委員
18:30	◇解散◇	

【2日目】7月4日（金）

〈会場〉浜松学芸中学校・高等学校

9:00~9:30	◇受付◇	
9:30~12:30	◇学校視察◇	司会 内藤 純一 浜松学芸中学校・高等学校高等学校長・事務長 服部 泰啓 学校法人信愛学園理事長 ○視察校代表挨拶 ○授業視察・施設見学 中学1年生から高校3年生までの第2校時の授業を視察します。 ○学校説明・実践報告 小川 知伸 浜松学芸中学校・高等学校副校長ほか ○全体会(質疑応答) 森 真人 浜松学芸中学校・高等学校中学校長/高校各コース担当者 ○総括・お礼の言葉 教育課程専門委員
12:45	◇解散◇	

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

◆講師・指導員（順不同）◆

藤村裕一	鳴門教育大学大学院学校教育研究科特命教授・教員養成DX推進機構長
宮島衣瑛	広島大学大学院人間社会科学研究科教育データサイエンスプログラム特命助教 株式会社 Innovation Power 代表取締役社長
服部泰啓	学校法人信愛学園理事長
内藤純一	浜松学芸中学校・高等学校高等学校長・事務長
森真人	浜松学芸中学校・高等学校中学校長
小川知伸	浜松学芸中学校・高等学校副校長
吉田晋	富士見丘中学高等学校理事長・校長
平方邦行	一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長
広石英記	東京電機大学副学長
森涼	学校法人石川高等学校・石川義塾中学校理事長・校長
大羽聡	千葉英和高等学校理事長・校長
松谷茂	学校法人文化杉並学園理事長
鈴木弘	学校法人香蘭女学校理事長
齋藤眞人	立花高等学校校長
川本芳久	一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長

◆会場のご案内◆

【初日】 [アクトシティ浜松コングレスセンター](#)

JR 浜松駅北口広場から徒歩 5 分

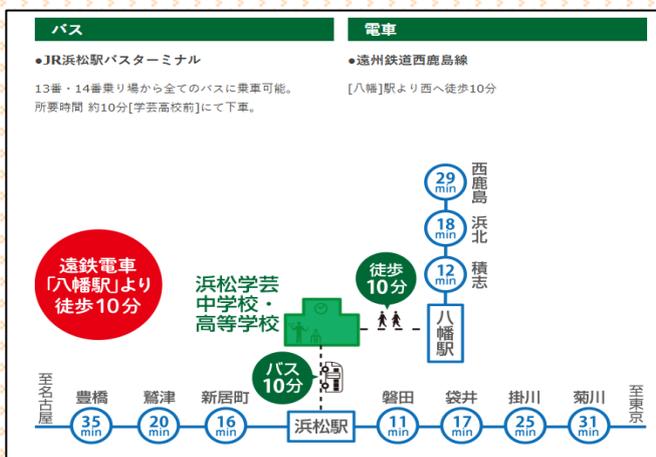


アクトシティ浜松コングレスセンターへのアクセスはこちらのQRコードからご覧頂けます。



【2日目】 [浜松学芸中学校・高等学校](#)

浜松駅からバス乗車「学芸高校前」下車  
遠州鉄道西鹿島線「八幡駅」から徒歩 10 分



浜松学芸中学校・高等学校へのアクセスはこちらのQRコードからご覧頂けます。



※会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。（お車でのご来校はご遠慮下さい。）

※遠鉄電車では、他社の交通系共通ICカードはご利用いただけません。クレジットカード等のタッチ決済がご利用頂けます。詳しくは[こちら](#)からご確認ください。

## ◆参加者へのお願い◆

### ①研修会場での動画・写真撮影等について

- ・当研修会での主催者記録係・取材メディア以外による録画・録音は禁止します。
- ・講師・発表者等の許可無く研修会の写真・内容等のホームページ・ブログや各種 SNS 等へのアップロードは禁止します。
- ・撮影した動画・写真は当研究所広報活動(刊行物・ホームページ掲載等)や取材メディアの新聞掲載等で使用する場合があります。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が写真や動画に映り込む可能性がありますので、予めご了承下さい。

### ②視察校での動画・写真撮影について

- ・動画撮影については禁止します。
- ・生徒個人が特定できる顔写真等の撮影は禁止します。
- ・撮影した写真は学校内の研修や報告等に活用する場合に限り使用を許可しますが、学校のホームページや紀要・報告書等への掲載、各種 SNS 等へのアップロードは禁止します。
- ・撮影写真の使用後は速やかに破棄して下さい。
- ・視察中は視察校の指示に従って行動して下さい。

## 令和6年度研修会の様子



講演（松下氏）



講演・ワークショップ  
(西村氏・藤村氏)



研究討議



学校視察（全体会）



学校視察（授業・施設見学）



教育懇談会

## ◆参加申込み方法◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、以下の申込先に記載のメールアドレスに添付（PDF）またはFAXでお送り下さい。

申込先	一般財団法人日本私学教育研究所 研修会担当 宛	
	メール	<b>kenshukai@shigaku.or.jp</b> （本申込書のPDF データを添付の上、お送り下さい。） ※メールでお申し込みの際は、「件名」に「教育課程部会申込」と記載して下さい。
	FAX	03-3222-1683

2. 申込は先着順に受付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。申込を締切った場合は当研究所ホームページでお知らせします。

**申込締切日 6月20日(金) 必着**

3. 申込受付後、「参加確認証」「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」を所属校（法人）宛てに郵送します。参加費は「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」で、指定されたコンビニエンスストアで以下の振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。研修会当日受付に「参加確認証」をご提示下さい。

**参加費振込期限・キャンセル期限 6月25日(水)**

4. 申込後2週間以内に「参加確認証」等が届かない場合は電話でご連絡下さい。（TEL 03-3222-1621）

## ◆変更・キャンセルについて◆

必ずメールまたはFAXで日本私学教育研究所へご連絡下さい。

- ①変更の場合は「参加確認証（再発行）」を郵送します。
- ②キャンセルの場合は「キャンセル確認書」をメールまたはFAXで返信します。

※メールでのキャンセル連絡の際は、「件名」に「教育課程部会キャンセル」と記載して下さい。

キャンセルポリシー	
6月25日(水)迄のキャンセル	6月26日(木)以降の連絡・当日無断欠席
事務手数料1,000円を差引いた参加費を返金します。	参加費の返金はありません。 研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合はキャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は状況により対応しますのでご相談下さい。

## ◆個人情報の取扱いについて◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用します。

## ◆傷害保険について◆

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

# 令和7年度 私立学校専門研修会・教育課程部会 参加申込書

申込み締切日：6月20日（金）

※FAXにてお申込みの際は送信前にFAX番号をご確認下さい。0(ゼロ)発信のFAX機で送信する場合は、「0」を押してから、FAX番号を押して下さい。

申込書送付・送信先	一般財団法人日本私学教育研究所「研修会担当事務局」宛 TEL.03-3222-1621 メール： <a href="mailto:kenshukai@shigaku.or.jp">kenshukai@shigaku.or.jp</a> (本申込書のPDFデータを添付の上、お送り下さい。) ※メールでお申込みの際は、「件名」に「教育課程部会申込」と記入して下さい。 FAX：03-3222-1683 (FAX送付状は不要です。)
-----------	---

記入日 令和7年 月 日

参加者氏名	(ふりがな) .....	職名	
		担当教科	
		教員年数	年目
<small>※職名、担当教科、教員年数は研究討議グループ編成の際に参考にさせていただきます。教員年数は(非常勤等)講師期間を含む。</small>			
学校(法人)名			
学校(法人)住所	〒		
	TEL ( ) ( ) ( )	FAX ( ) ( ) ( )	
<small>※参加確認証を上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先及び受取人氏名をご記入下さい。</small>			
参加者連絡先	携帯電話番号 ( ) ( ) ( )		
	<small>※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号をご記入下さい。</small>		
メールアドレス	<small>※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)をご記入下さい。</small>		

## 事前アンケートについて

講師・視察校への質問事項等、研究討議に関する事項を  
QRコードまたは下記リンクから、6月20日（金）迄にご回答下さい。



<https://forms.gle/75Jws5cWP23oLnnu7>

通信欄	
-----	--

※メールまたはFAXでお申込下さい。

受付No.

※複数名の参加の場合は、本参加申込書をコピーしてお使い下さい。